

勉強を習慣に！学習スケジュールを立てよう！

茗溪塾塾長 長谷誠基

4月になり、春期講習も終わりました。「その日学習」をテーマに行われたこの講習では生徒たちが、「その日学習ノート」や自分のノートに間違えた問題をやり直している様子が見られました。受験勉強のカギとなるこの方法は、定期テストに対しても、受験勉強に対しても非常に効果的です。ここだけで終わらせず、今後も続けていくことが重要です。自分の力で解けなかった問題が解けるようになる。単純ですが、これが一番力を伸ばします。

さて、4月になると、新入学・新学期になります。新しい環境・新しい先生や友人に会える楽しみや不安。なかなか心が落ち着かない時期かもしれません。新中学1年生であれば、今後部活動も始まり、忙しい生活に追われていくことになります。学校から帰ると、慣れない生活や早起きのため、眠くなって寝てしまい、気が付いたら2時間たっていた、なんてことは良くあることです。それを見ていると、保護者としては「大変だな…」という思いから、あまり勉強しなくても、「仕方がない。」と考えがちです。しかし、中学生であれば、いずれは定期試験などが近づき、いやでも勉強しなければいけない時期がやってきます。そのときになって、さあ勉強しよう。と考えても、すでにあまり勉強していない時期が長くなっているのです。なかなか手につかなくなってしまう。それを防ぐためにも、生活の中に勉強を習慣づけることが重要になります。そのために必要になるのが、生活のスケジュールです。スケジュールなんて立てても長続きしない。と考えてしまうかもしれませんが、長続きしない原因はスケジュールの立て方にあります。大人なら一日の始まりにやらなければいけないことを書き出し、それをスケジュールリングしていきます。子供がこれをできないのは、経験が足りないからです。初めは一緒に考えながら立てていき、まずはそれを続けることをやってみます。当然うまくいかない部分が出てきますので、それをどうすればいいのか？自分で考えられるようになれば、もうすぐ自分で管理ができるようになります。つまり、スケジュールを立てることは自分が管理できるようになる大人への一歩になります。続かないスケジュールは無理に勉強を詰め込

みすぎたり、やることがはっきりしない場合に起こります。最初は30分などの短い時間でもいいので、生活の中に学習を位置付けていきましょう。その中で教科書を読む、英検に向けて単語を練習するなど、何をやるかを決めてスタートしてください。自分が成長するための1つとしても、学力をつけるためにも一日のスケジュールを立ててみてください。